

日本や世界の人たちのために、「人の役に立つ」ことをしよう。



大切な活動の一つとして「募金活動」があります。暑い日や寒い日に街の中で普段から行っている「募金活動」は、社会の人々にとってとても役に立っているよ。もう一度、自分たちが行っている「募金活動」がどのような形で日本や世界の人たちに役に立っているのか学ぼう。きっと、もっと「募金活動」にファイトがわいて頑張れるよ。

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金は毎年10月から12月の間に行われます。君たちの集めた募金は、主に日本の中の君たちの各地域でいろいろな大切な事業に使われています。



ハンディキャップのある人や子どもたちが地域で安心して暮らすための活動

寝たきりのお年寄りや一人暮らしのお年寄りの生活を助ける活動

子どもの育成や家族を支えるための活動



地域で困って助けが必要な人々を助ける活動

緑の募金



毎年「みどりの週間」(4月23日～29日)の前に行われる募金活動。地球で私たちが快適な生活をするためには、森や林が大切な役割をしています。「緑の募金」で集められた募金は、地球温暖化防止や日本を豊かな緑と水に恵まれた国にするための大切な活動に使われています。

大切な森や林を育てて守る活動



里山を守り育てる活動



学校や地域の緑化のための活動

外国での緑化を助ける活動



ユニセフ



ユニセフは世界の子どもたちの命と健康を守るために活動する国連機関です。世界では今でも、きれいな水や薬がなく命をおとってしまう子どもたちがたくさんいます。また、学校に通っていない子どもが約1億1,700万人もいます。君たちが行ったユニセフ募金は、世界できびしい生活をしている子どもたちの命と健康を守るために大切に使われています。



幼い子どもの生命と健康な生活を守る活動

エイズ/HIVから子どもたちを守るための活動



すべての子どもが教育を受けられるようになるための活動

社会や家族から守ってもらえない子どもたちを助ける活動



国連難民募金



国連難民高等弁務官事務所は、英語ではUNHCR(ユニー・エヌ・エイチ・シー・アール)と呼ばれています。戦争や迫害で住む家を追われ厳しい生活をしている「難民」の人たちを守る活動をしている国連の機関です。君たちが集めた募金が、難民生活を送る人々の毎日の生活を支えています。



■まず、君たちにできることは

- ・避難して来た人々の命を守る活動
- ・難民生活での衣食住を支える活動
- ・故郷に戻れるように応援する活動
- ・故郷での生活再建を応援する活動



指導者の皆様へ

募金活動の実施にあたっては、各募金活動の「目的」や「意義」、募金したお金の使いみちについて、事前に、スカウトたちに分かりやすく説明することが大切です。今回は、各募金の目的や具体的な使途について掲載しました。説明の際の資料としてご活用ください。

また、ユニセフ、UNHCRなどの各団体では、充実したホームページやいろいろな資料を用意していますので、スカウトの募金活動をより有意義なものとするため、これらの積極的なご活用をお勧めします。

■日本ユニセフ協会

●資料の申し込み
日本ユニセフ協会 団体・組織事業部
〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12
ユニセフハウス
TEL 03-5789-2012
FAX 03-5789-2032

<http://www.unicef.or.jp>

世界の子どもたちのお話や緊急支援情報、ユニセフの活動や募金方法など役立つ情報がたくさん掲載されています。また、「子どもの広場」では、子ども向けのゲームや統計資料などもあります。知りたいこと、わからないことなど、調べてみてください。

■UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)

●資料の申し込み
日本UNHCR協会
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-70
UNハウス6階
TEL 03-3499-2450
FAX 03-3499-2273

<http://www.japanforunhcr.org>

世界の難民の現状や難民キャンプでの生活の様子など豊富な情報が掲載されています。